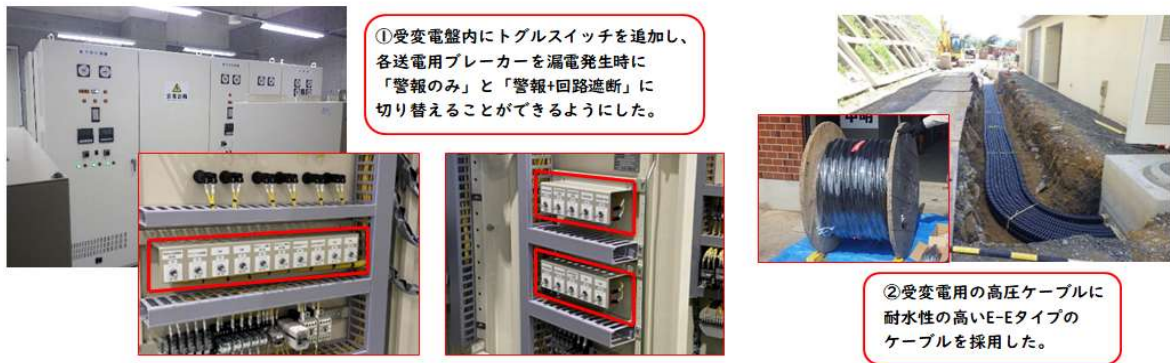


<部門・事業者>品質の向上 ・ 坂野電機(株)



吉野瀬川ダムの受電設備等の設置工事において、受変電盤や受電用ケーブルの仕様決定にあたり、施設維持管理者の視点に立って送電用ブレーカーへのスイッチの追加や、水トリー対策に耐水性の高い高圧ケーブルの採用を行い、維持管理の容易性や品質の向上を図った。

<部門・事業者>品質の向上 ・ (株)関組



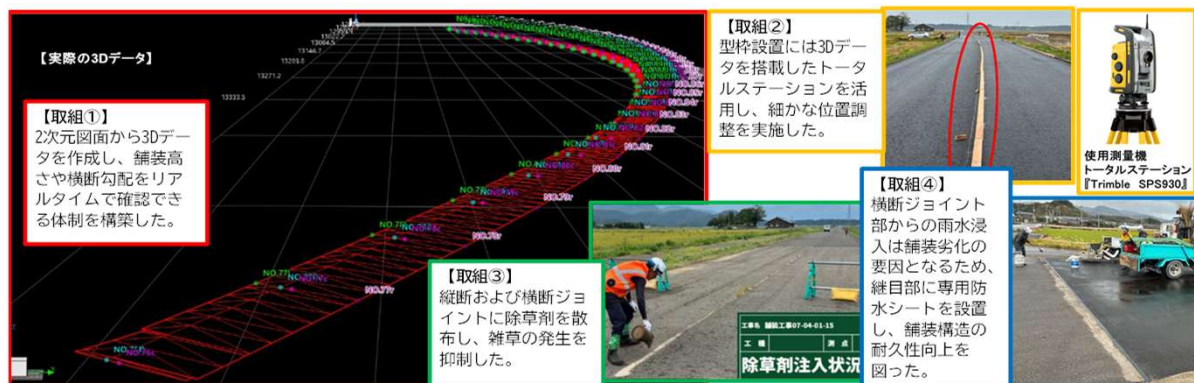
多雪・寒冷地の除雪基地において、土間コンクリートのひび割れを抑え、耐久性に優れた目地材を使用することで車庫床の損傷による修繕コストの削減を図った。休憩室部分の屋根折板下に遮熱シートを張り、更に壁の気密性を確保するなどにより、壁内結露による腐食リスクの低減とともに省エネ効果を高めた。

<部門・事業者>品質の向上 ・ (株)創和テック



揚水機場のポンプ設備等の更新工事において、ポンプ操作盤の仕様決定にあたり、管理する地元の目線に立った視認性の向上、維持管理の向上、利便性の向上を目的として、①タッチパネル画面の設置、②週間タイマーの追加、③通報装置の設置の機能を有した操作盤とし、維持管理の省力化に繋げた。

＜部門・事業者＞品質の向上 ・ (株) 辻広組



新設道路の舗装工事において、3D設計データとトータルステーションを活用し、リアルタイムで舗装高さと横断勾配を確認するなど、高精度測量技術による平坦で高品質な舗装を施工した。ジョイント部の雑草発生抑制対策や防水シート設置による長寿命化対策により品質の向上を図った。

＜部門・事業者＞品質の向上 ・ ナガシマ工業(株)



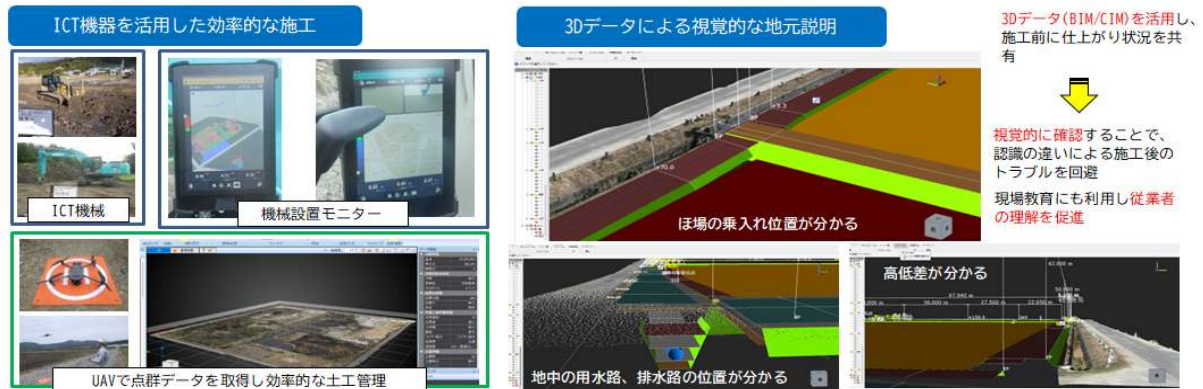
法面对策工事において、低温による注入材の初期凍害を防ぐため、早強セメント使用と品質管理の徹底により早期強度の発現を図った。法枠内の植生吹付において、シカが嫌う独特の香りを持つアオジソなどの植物種を選定し施工することでシカによる食害を回避しつつ法面浸食を防止し、品質の向上を図った。

＜部門・事業者＞品質の向上 ・ (株) モトイ



重力式擁壁の前面に透水性型枠用シートを使用することで、空気とともに余分な水分と気泡が型枠に沿って排出され、コンクリート表面に緻密な層ができて耐久性の向上が図れた。落石防護柵設置のためコンクリートが薄くなる部分については、ガラス繊維ネットで補強することで、ひび割れの発生を防いだ。

<部門・事業者>施工性の向上 ・ 加野建設(株)



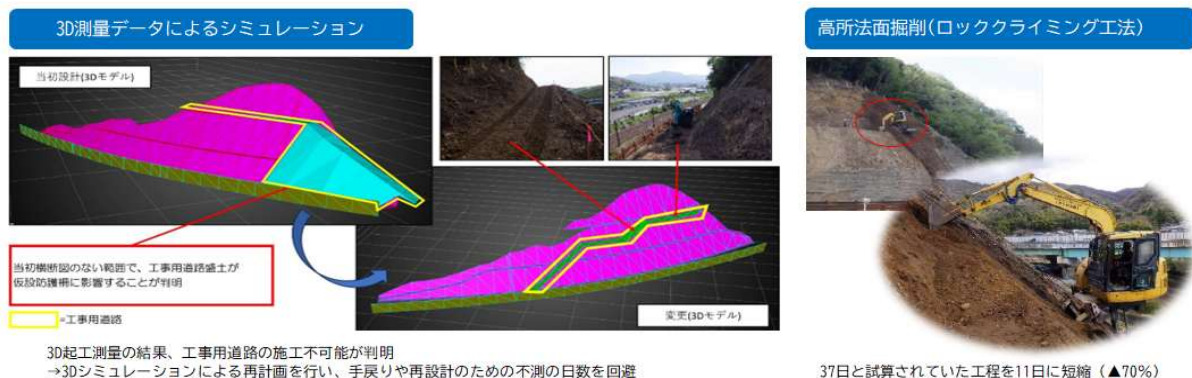
圃場整備工事において、UAVやマシンガイダンス、快速ナビなどICT機器を積極的に活用することで効率的な施工を実現するとともに労務の効率化を図った。施工前に3Dデータによる現場の出来形や仕上がり状況を視覚的に地元と共有することで、施工後の認識の違いによるトラブルを回避した。

<部門・事業者>施工性の向上 ・ 坂川建設(株)



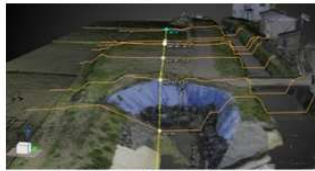
大型クレーン設置場所を交通量が多い交差点から御本城橋に変更し、夜間施工とすることで、渋滞などの混乱もなく施工を完了させた。お堀にフロート台船を浮かべることで機械の設置場所を確保して作業効率を向上させた。騒音・振動計を設置し、基準値内を常時確保し、苦情がなく計画通りの工程で施工を完了させた。

<部門・事業者>施工性の向上 ・ 敦賀旭土建(株)



道路拡幅に伴う土工工事において、3D測量データをもとに計画を事前にシミュレーションし、手戻りのない効率的な施工を実現した。高所法面掘削においてロッククライミング工法を採用し、人力主体となる難所を高度に機械化することで施工プロセスを抜本的に効率化し、大幅な工程短縮を図った。

＜部門・事業者＞施工性の向上 ・ (株)東部建設



掘削形状の3D設計データを作成し、複雑な掘削断面を図化

工事着手前に複雑な現状地盤を3Dレーザースキャナにより起工測量し、掘削形状の3D設計データを作成してマシンコントロール重機にて施工することで、深さがある危険な床掘りを丁張レスにて行った。最下流部に止水コンクリート壁を設置することで河川水の逆流を防ぎ、効率的に施工を行った。

＜部門・事業者＞施工性の向上 ・ (株)時岡組



遠隔臨場を活用して、随時確認可能な体制をつくったことで工程が円滑に進んだ。拡張現実アプリを導入することで、作業の理解向上と効率化を図った。脱型不要の残存型枠を採用して、工程短縮を実現した。水通し部に昇降ステージを設置することで両側の作業を一体で実施し、施工性を向上させた。

＜部門・事業者＞施工性の向上 ・ 中日本土木(株)



土砂混合ヤードを作製して、異なる土質の土と改良材を攪拌する工程を短縮した。マシンガイダンス機械を使用して人員の削減を図った。シート養生により大雨による法面崩壊などを防止し、早期の工事再開を可能とした。工事用道路に敷き鉄板を設置して、降雨による走行不良を無くし、安定的に施工を行った。

＜部門・事業者＞施工性の向上 ・ 日光産業(株)



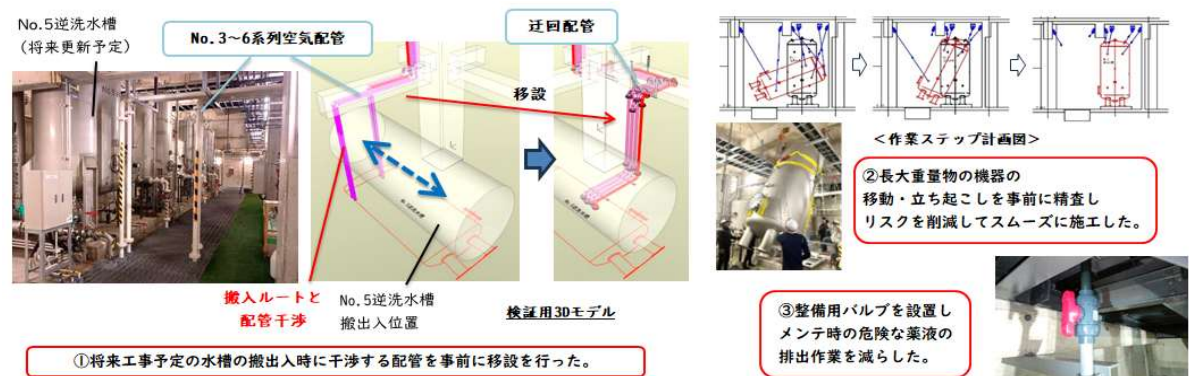
道路拡幅に伴う法面工事において、3D設計データによる照査を行い、アンカー体長の不足を事前に把握することで、手戻りや再設計のための不測の日数を回避した。3Dレーザースキャナを活用した少人数での法面測量や3Dデータによる出来形管理を行うことにより、作業の効率化・省力化を図った。

＜部門・事業者＞施工性の向上 ・ 福井鐵工(株)



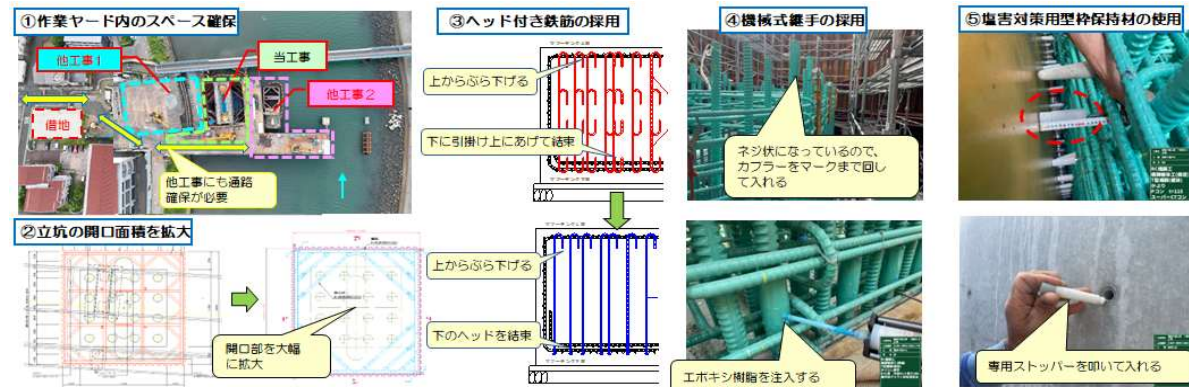
ダム水位調整ゲートの更新工事において、測量の困難な斜面を3Dレーザースキャナを使用した測量により点群データを取得することで、手戻りのない効率的な設計を行い、操作室内での機器の干渉回避を図った。安全・安定した場所から広範囲に測量することで、測量時間を大幅に短縮した。

＜部門・事業者＞施工性の向上 ・ 北陸設備工業(株)、(株)マルツ電波、特定建設工事共同企業体



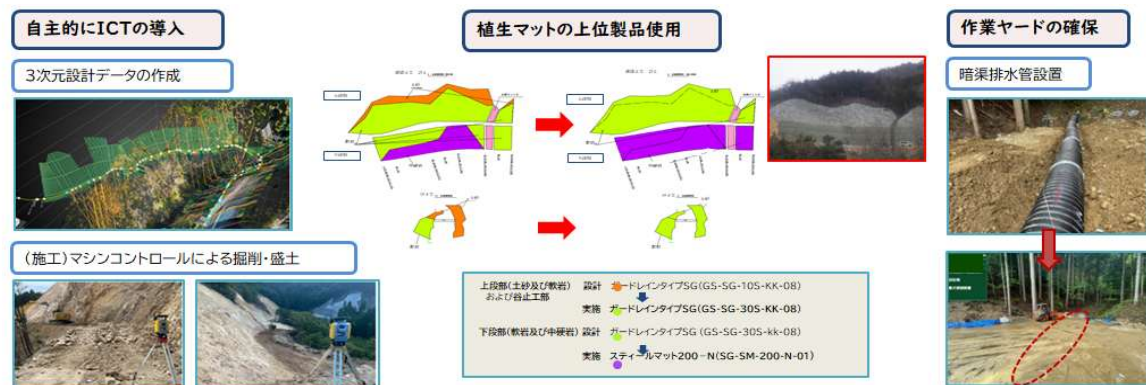
3市2町へ水道を供給する浄水場施設の老朽化した膜ろ過設備を更新する工事において、施工にあたって将来干渉する配管の先行移設・長大重量物の機器の搬入の詳細計画策定・整備用バルブを追加して、既設設備への影響低減と施工性の向上を図り、機器停止リスクの低減を行った。

＜部門・事業者＞施工性の向上 ・ (株)山下組、(株)若狭緑化、特定建設工事共同企業体



借地をして作業ヤード内のスペースを確保し、他社との工程調整をスムーズに行った。立坑の土留め構造を再検討して開口面積を拡大し、作業の効率化を図った。ヘッド付き鉄筋と機械式継手を採用し、迅速に配筋作業を行った。脱型後の型枠保持材の間詰めを専用ストッパーによりスムーズに的確に行った。

＜部門・事業者＞施工性の向上 ・ 山田土木(株)



付替林道工事において、自主的なICT技術の導入や、1つの斜面ごとに植生マットを上位製品に統一して張り分け回数を減らし作業の効率化を図った。暗渠排水管設置による作業ヤードの確保を行って施工性の向上を図るとともに、ダム周辺の工事施工業者と密な工程調整を行い工期内完成を図った。

＜部門・事業者＞安全性の向上 ・ (株)建昇

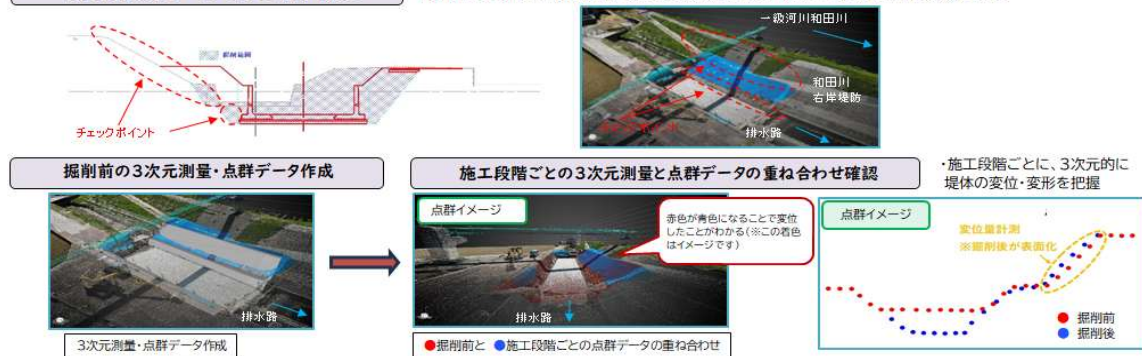


斜面崩壊の継続や泥濘化、再崩壊の危険がある道路法面復旧工事においてICTを積極活用。UAV測量により危険箇所への立入りを回避して高精度な3D地形データを取得し、点群データを活用した施工計画の最適化や遠隔出来形管理により、安全性の向上と施工の効率化を実現した。

＜部門・事業者＞安全性の向上 ・ (株)トミックス

既設堤防護岸ブロック基礎基準高の測定

- ・目視確認と日常管理(堤防護岸ブロック基礎基準高の計測)を行い堤防箇所の状態を把握



農業用排水路の改修工事において、河川堤防法尻付近の掘削による河川堤体の変形に対して、日常点検としての目視確認と測量機器による法尻任意位置の計測に加え、施工段階の時点ごとにドローンで点群データを取得し、データを重ね合わせて3次的に変位状況の確認を行い、安全性の向上を図った。

＜部門・事業者＞担い手の確保・育成 ・（株）直組



地域の子供を未来の担い手と見据え、圃場整備工事においてインターンシップの受け入れや小学生への現場見学会、地元の中学校での出前授業など様々な活動を通じ建設業の重要性や魅力を伝えるとともに、自社のSNSやホームページ等で積極的に情報発信を行うことで、新たな担い手の確保につなげた。

＜部門・事業者＞担い手の確保・育成 ・ 丹生建設工業(株)

①女性技術者に配慮した職場環境の整備



②子育て世代に配慮した就業時間の徹底

子育て世代に配慮し、定時退社と土日休暇を前提とした結果、他工事現場へも展開、全社的に残業時間が削減

残業時間の削減（1人あたりの年間残業時間）		
	本工事	全社的
2024年4月～2025年3月	18.3h (同様工事の参考値)	22.6h
2025年4月～2026年3月 (本工事の工期)	11.5h	19.6h
削減率	37%削減	15%削減

③ICT施工の内製化

内製化により若手技術者育成を推進
作業効率の向上や省力化だけでなく、
作業員不足への対応や担い手の確保に期待



女性を主任技術者に登用し、技術の習得を図るとともに、女性用のトイレや休憩所を設置するなど職場環境を整備した。定時退社や土日休暇の確保を前提に子育て世代に配慮した結果、他の現場にも展開し、全社的な残業削減につながった。ICT施工を内製化することにより、若手技術者の育成を推進した。

<部門・事業者>担い手の確保・育成 ・(株)富士土建

若手技術者の確保、担い手不足解消に向けた取り組みの実施

中学校職場体験学習 生徒3名



支取代替工事において、中学生向けの職場体験学習を企画・実施した。現場でのレーダー探査体験やドローン操縦体験、安全帯装着体験、削孔水の中性化体験など、生徒の好奇心を引き出す工夫を行い、現場でしか得られない実践的な知識・経験の提供を通して、担い手不足の解消に取り組んだ。

<部門・事業者>環境・景観への配慮 ・(株)K.company

環境・景観に配慮した取り組み



現場採取の石材を活用した溪床の石張りや、残存型枠の端材（丸太材）を利用した花壇や階段の設置など、景観に配慮した施工を行った。現地植生（シャガ）の移植や、処分予定の残土を利用した歩道の設置、生分解性資材を使用した法面保護工など、環境に配慮した取り組みを行った。